

富士見台地区が自主的運動を…

# 粉石けん継続使用へ

市が昨年9月から行ってきた粉石けん使用による、富士見台下水処理能力テストは、12月末で終わりましたが、地区町内会を中心に実験終了後も継続して、粉石けん使用運動を進めていくことになりました。

合成洗剤から粉石けんへの切替え実験は、1,699世帯を対象に行い、このうち97.7%の世帯が協力してくださいました。

この実験ではっきりと効果が現れたのは、スカム（泡状のカス）が消えたことと、下水処理をする微生物の活動がよくなったことです。

この結果、処理場からの放流水の透視度は50メートルになりました。

## 全戸アンケート調査を実施

こうした実験協力の中で、下水処理能力が著しく向上したこと。合成洗剤の人体への影響を心配し、婦人部から今後どうするのかという声があがったことなどから町内会連合会では、アンケート調査をしました。

調査結果では――

これからも粉石けんを使用すると回答した世帯が57.2%、粉石けん使用の呼びかけがあれば協力するという世帯は、96.1%もありました。

また粉石けんの欠点といわれてい



る使った感じについても、使いよいと回答した世帯が60%、使いにくいという世帯は36.2%、回答なしが、3.8%で、総体的に粉石けんを使う意思があることがわかり、今後も引続いて洗たく用粉石けんを使う運動を進めていくことにしました。

## 富士見台から全市民運動へ

町内会連合会としては、富士見台地区にある販売業者に合成洗剤を売らないでほしい、また、手持ちの合成洗剤の交換などを申し入れ協力をお願いしました。

市は、富士見台地区の自主的な運動を全市民運動として、盛りあげたいと考え、2月に予定されている消費者展で、富士見台地区の成果を発表することにしています。



## 交通安全指導員になりたい

〔おたずねします〕 祭典や地区の運動会など、行事があるたびに交差点などに立ち、歩行者の交通安全につくしている市の交通安全指導員。

私も交通安全指導員になりたいと思います。誰でもなれるのでしょうか、また報酬などの待遇はどうなっているのでしょうか、教えてください。（一市民）

〔おこたえします〕 交通安全指導員は、各地区（公民館単位ぐらい）の連合町内会長さんや、社会教育推進協議会などに推せんしていただいた適任者に、市長が「富士市交通安全指導員」として委嘱（任期2年）しています。

なお、主な推せん基準は次のとお

りですが、交通安全指導員の活動はボランティアを前提としていますので、被服や装備品は貸与しますが、報酬は支給しません。

しかし、交通安全指導員が組織している会には活動費を助成しています。

推せん基準

- (1)富士市に住む20歳から60歳ぐらいまでの人
- (2)自動車運転免許証をもっている人
- (3)健全な心身の持ち主で交通安全指導活動に熱意のある人

今年の6月に新しい指導員を委嘱します。（市交通課）